



時

G

空の可視化

地

ジクウのカシカ

見える・分かる・光る

開業当時で作られた鉄鋼構（かまち）構造を復旧・再生することで地下空間にゆとりをもたせ、各駅界隈の雰囲気
を想像させる材料やモチーフで演出と合わせ**メトロ 100
年の歴史・ロマンを再現**します。

同時にホームや地下通路に**現在の地上の様子や過去の思
い出を見せる映像の『窓』**を設けることで、地上とのつ
ながりを強め、閉塞感を和らげ、単なるサインでなく街
の様子・現在位置を知らせます。

柱上部分空調を
通しています。

創業時に降に設置されて来た天井及び配管を撤去します。



設備空調関連の配管を
ホーム下にまとめます。

上野 UENO



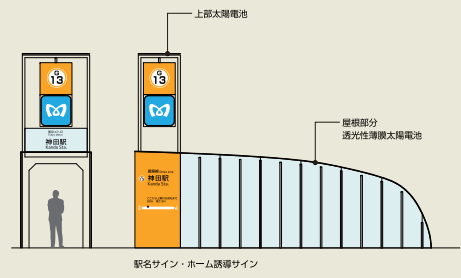
No.TMR0462

時
G 空の可視化
地
ジクウのカシカ

神田 KANDA

神田駅の開業当初の連続するポルト状の天井を復活させ、その形状に合わせた窓を計画しています。

地上から駅の様子や路線の進行方向が手に取るように見える。
銀座線を歩行者や車両からも明確にするため、現代の纏（まとい）としてのサインを上部に掲げ、線路の方向性と駅のゲート性を表しています。



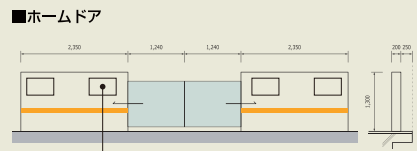
開業当初の形状をガラスと鉄骨構造の形状で構成したデザインです。



見える 光る 分かる

街が分かる、天気分かる、歴史が分かる、運転状況・・が分かる。

映像の「窓」を中心に駅のホーム空間に氾濫するサインと広告を効率よくまとめ、より判り易く行動出来るようにします。



稲荷町 INARICHO

今回提案する駅の中では一番開業当初のイメージを生かすつつモダンさと懐かしさを表現しています。



改札付近は、地上から届けられた光にあふれ、街に誘（いざな）われる。

メトロ 100年の夢を往来出来る銀座線

日本最古の地下鉄として、東京の性格の異なる5つのゾーンをつないできた銀座線。開業当初のモダンさと変貌し続ける未来としての渋谷とを結んでいます。今回は5つのゾーンのイメージを表現するため、ゾーン毎のマテリアルを計画しています。

